

サステナブルエリアデザインとコミュニティデザイナーに関する研究(その3)

日大生産工（院） ○齋藤貴大 日大生産工 川岸梅和
日大生産工 北野幸樹

1 はじめに

本研究は、既報「サステナブルエリアデザインとコミュニティデザイナーに関する研究その2」に引き続く一連の研究である。

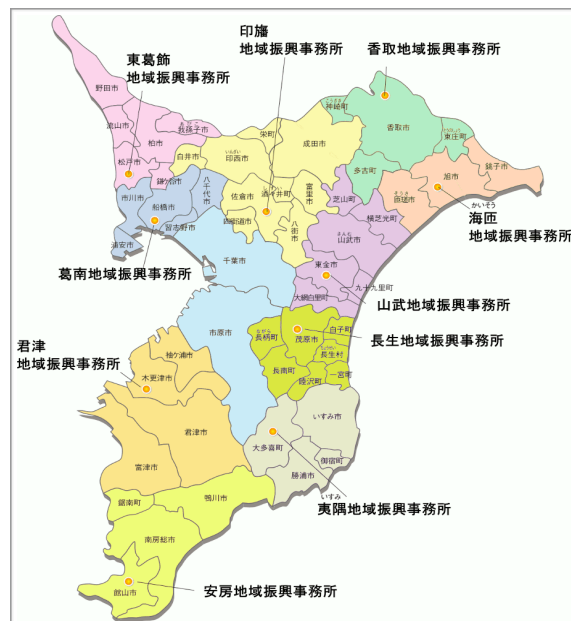
前報では、千葉県における市民参加型のコミュニティ活動の組織の実態及び、事業・活動の現状を報告した。

本稿では、地域で実際に取り組まれている事業・活動の現状を把握するとともに、参加者や活動の担い手にみられる傾向的特性を明らかにすることを目的とする。

2 調査対象地域

本研究の調査対象地域の千葉県は、首都圏の東側に位置し、三方を海に囲まれた半島で、59の市区町村から構成されている。そして、地域振興所の所轄区域によって11の地域に分けることができる。(図1)

図1 千葉県の市区町村及び地域分け



3 調査方法

内閣府のNPO法人ポータルサイト「全国非営利活動法人情報」にて、千葉県に拠点を置き、「まちづくり」活動を中心に行っている組織を抽出し、それらを対象にアンケートを実施した。

アンケート調査の内容は、「組織の性格」、「組織の構成メンバー」、「構成メンバーの年代」、「他組織との交流の有無」、「組織で行われている事業・活動名」、「事業・活動分野」、「事業・活動内容」、「事業・活動実施場所」、「事業・活動実施期間」、「事業・活動実施頻度」、「事業・活動実施時間」、「事業・活動参加者」等となっている。

調査により得られた結果を、千葉県地域振興所の所轄区域に基づいた11地域毎に整理し分析を行う。

表1 活動分野概要

No.	活動分野項目名	活動内容	事業・活動例
1	保健・医療・福祉	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	介護サービス
2	社会教育	社会教育の推進を図る活動	生涯学習
3	まちづくり	まちづくりの推進を図る活動	街並み保存
4	観光	観光の振興を図る活動	情報発信、観光ガイド
5	農山漁村・中山間地域	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	農業支援
6	学術・文化・芸術・スポーツ	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	スポーツ教室
7	環境の保全	環境の保全を図る活動	リサイクル、里山保存
8	災害救援	災害救援活動	被災地支援
9	地域安全	地域安全活動	防犯パトロール
10	人権・平和	人権の擁護又は平和の活動の推進を図る活動	戦争体験談
11	国際協力	国際協力の活動	海外留学生との交流会
12	男女共同参画社会	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	女性のための電話相談
13	子どもの健全育成	子どもの健全育成を図る活動	フリースクール
14	情報化社会	情報化社会の発展を図る活動	パソコン教室
15	科学技術の振興	科学技術の振興を図る活動	科学実験教室
16	経済活動の活性化	経済活動の活性化を図る活動	経営塾
17	職業能力・雇用機会	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	職業訓練
18	消費者の保護	消費者の保護を図る活動	法律相談
19	連絡・助言・援助	前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	活動資金の提供
20	条例指定	前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動	

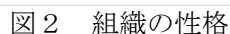
4 アンケート調査結果

千葉県において市民参加型のコミュニティ活動を行っている781組織を抽出した。

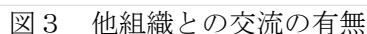
表2 アンケート調査結果

4-1 組織について

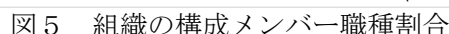
千葉県において、コミュニティ活動を行う組織の82.6%が「NPO組織」と最も割合が高く、次いで「住民が自主的に組織する団体」が10.9%、「市区町村が関与する協議会・団体等」が3.7%の順となっている。(図2)



他組織との交流については、千葉県においてコミュニティ活動を行っている73.1%の組織が「有る」と回答している。(図3)

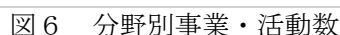


組織を運営する構成メンバー人数は「10人以上20人未満」が40.8%、次いで「20人以上30人未満」が14.4%、「1人以上10人未満」が14.4%の順で割合が高い。(図4)



4-2-1 事業・活動分野について

アンケート調査結果より、組織が行っている事業・活動に関して、「まちづくり」が240と最も多く、次いで「保健・医療・福祉」が233、「子どもの健全育成」が183の順で事業・活動数が多い傾向が見られる。(図6)



アンケート調査結果より、組織が行っている各事業・活動について、千葉県において78.8%が「地域内」の参加者で、21.2%が「地域外」からの参加者である。「連絡・助言・援助」、「観

光」、「科学技術の振興」、「環境の保全」、「農山漁村・中山間地域」などは「地域外」からの参加者のほうが多く、事業・活動で最も多く行われている「まちづくり」は「地域内」の参加者が82.9%、「地域外」の参加者が17.1%となっている。（図7）

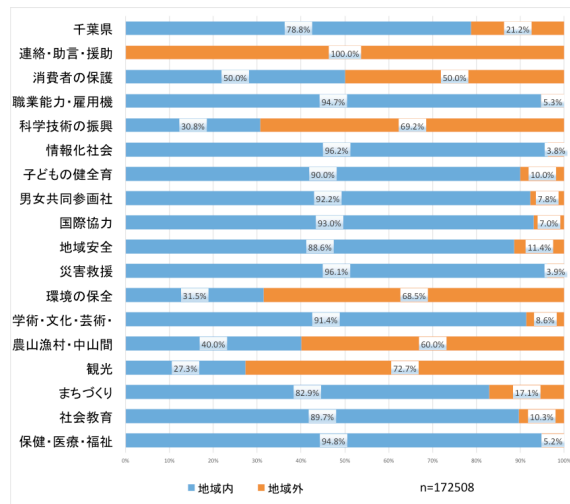


図7 地域内外における事業・活動参加者

4-2-3 事業・活動と構成メンバー

各組織が行っている事業・活動の構成メンバーについて、全事業・活動の平均は、「地域内の一般住民」が73.7%と最も割合が高く、次いで「地域外の一般住民」が7.0%、「地域内の商工業者」が6.2%の順となっている。

事業・活動数で最も多く行われている「まちづくり」は、「地域内の一般住民」が68.4%と最も割合が高く、次いで「地域外の一般住民」が8.8%、「地域内の商工業者」が7.7%の順となっている。（図8）

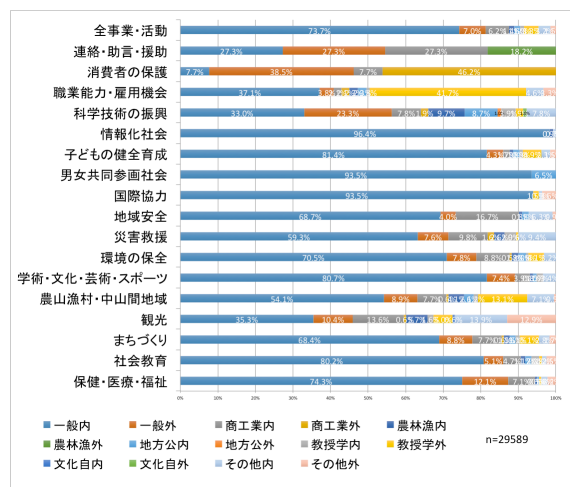


図8 事業・活動の構成メンバー

4-2-4 他組織との事業・活動

他組織の交流が「有る」と回答した組織について、「保健・医療・福祉」が64件と最も多く、次いで「学術・文化」が46件、「子どもの健全育成」が32件の順となっている。（図9）

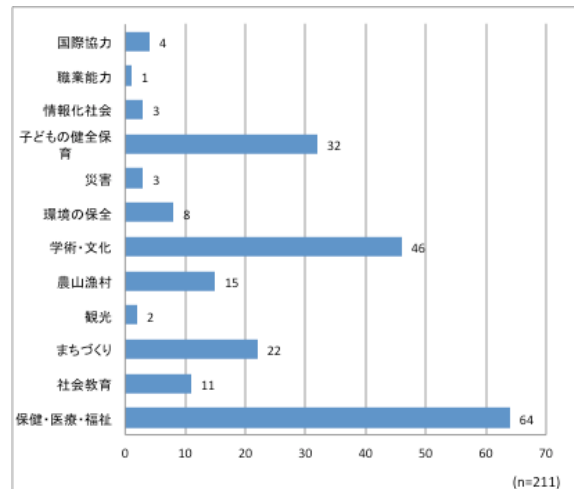


図9 他組織との事業・活動

4-3 各地域について

4-3-1 各地域における活動分野割合

千葉県各地域における、各活動分野の事業・活動数は「東葛飾地域」で205と最も多く活動しており、次いで、「千葉地域」が165、「印旛地域」が133の順であった。「東葛飾地域」の事業・活動では、「保健・医療・福祉」の割合が最も多い傾向が見られる。（図10）

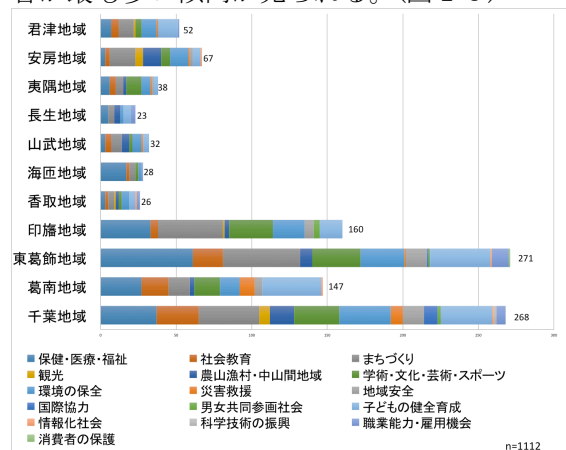


図10 各地域別事業・活動分野数

4-3-2 各地域における参加者について

千葉県の各地域ごとに分析していくと「山武地域」と「香取地域」では、「地域外」からの参加者が多く、その他の地域では、「地域内」からの参加者が多い傾向が見られる。（図11）

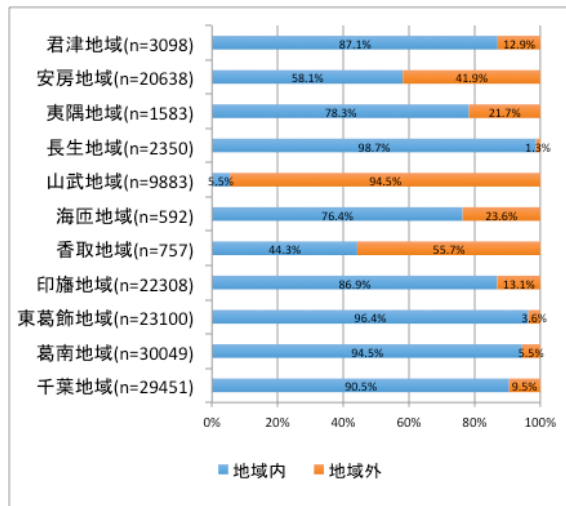


図 1 1 各地域における参加者

4-3-3 各地域における事業・活動の構成メンバー

千葉県において、各地域における構成メンバーについて、「地域内の一般住民」の割合が最も高く、次いで「安房地域」、「夷隅地域」、「海匝地域」、「香取地域」、「印旛地域」、「東葛飾地域」、「葛南地域」では、「地域外の一般住民」が多く、「君津地域」、「山武地域」、「香取地域」では、「地域内の商工業者」の割合が高くなっている。(図 1 2)

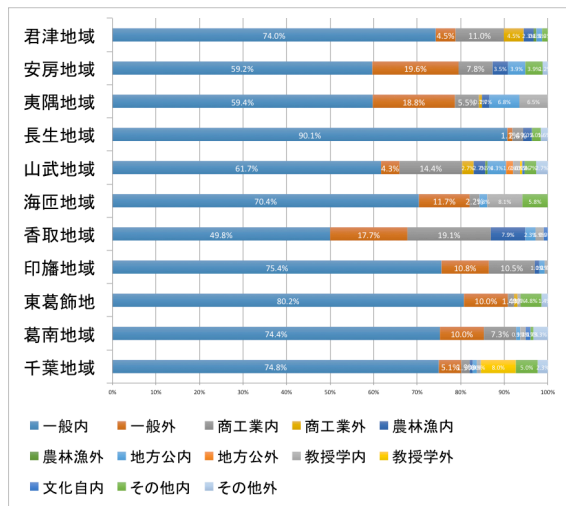


図 1 2 各地域毎の事業・活動構成メンバー

4-4 問題点について

アンケート調査により、350組織中、117組織が問題点を有すると回答した。組織における問題点は「会員数不足」が37件と最も多く、次いで「資金不足」が31件、「メンバーの高齢化」が26件の順で多い傾向が見られる。(図 1 3)

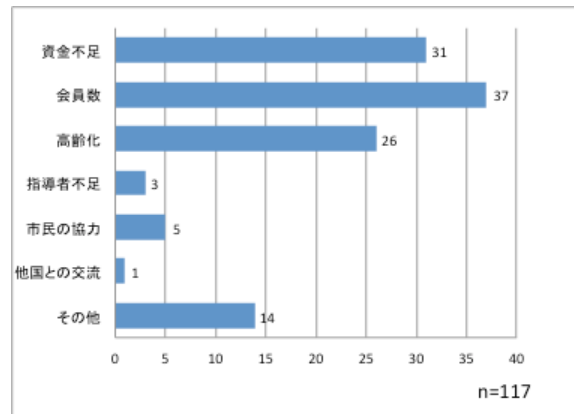


図 1 3 組織における問題点

5 まとめ

千葉県において市民参加型のコミュニティ活動を行っている781組織を抽出した。

コミュニティ活動を行う組織の82.6%が「NPO組織」と最も割合が高い。従って、千葉県では「NPO組織」がSADに関与していると言えよう。

組織の構成メンバーでは、「地域内の一般住民」の割合が最も高く、CDとして関与していると言えよう。

組織の事業・活動内容については「まちづくり」が240と最も多い傾向が見られた。

各地域の参加者について、「地域内」の参加者の割合が高くみられたが、「山武地域」と「香取地域」では「地域外」の参加者の割合が高い傾向がみられた。

他組織との交流の有無は、73.1%の組織が「有る」と回答した。また、他組織との交流する際の事業・活動内容は「保健・医療・福祉」が最も多い傾向がみられた。

組織における問題点は「会員数不足」、「資金不足」、「メンバーの高齢化」が多く挙げられた。

参考文献

- 1) 日本建築学会 サステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会、日本のサステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト～地域主権の計画枠組：制度と担い手～、日本建築学会、(2010)
- 2) 日本建築学会 サステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会、日本のサステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト提起報告書、日本建築学会、(2009)
- 3) 千葉県 NPO HP <http://www.chiba-npo.jp/> (2015)
- 4) 内閣府 NPO HP <http://www.npo-homepage.go.jp/> (2015)

本論文に関する既発表論文

- 1) 樋口咲子、川岸梅和、北野幸樹：サステイナブルエリアデザインとコミュニティデザイナーに関する研究（その2）－千葉県内における市民参加型のコミュニティ活動の動向と特性－ 第47回日本大学生産工学部学術講演会講演概要、pp.903～pp.904、2014年12月
- 2) 齋藤貴大、樋口咲子、川岸梅和、北野幸樹：サステイナブルエリアデザインとコミュニティデザイナーに関する研究（その2）－千葉県における地域コミュニティの活動の現状－日本建築学会大会学術講演梗概集、p.903～pp.905、2015年9月